



ペーテル・エールディ/ジュジャ・スベテルスキー／著
高見典和／訳

リペア「使い捨て社会」から「修理・修復社会」へ

135 × 195 mm 328 頁 定価 2,970 円 (税込)
出版社：(株) 日本評論社 2023 年発行
〒170-8474 東京都豊島区南大塚 3-12-4
TEL 03-3987-8611 FAX 03-3687-8593
ISBN-10: 4-535-54058-6 ISBN-13: 978-4-535-54058-3 C 3030

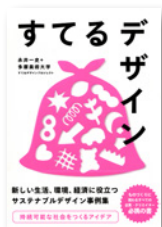
【評者】(株) 東和テクノロジー ^{もうりしの} 毛利 紫乃

カラマズー大学複雑系研究センター教授ペーテル・エールディ氏と、社会科学センター(ブダペスト) 研究員ジュジャ・スベテルスキー氏の共著である。共産主義圏のハンガリーで生まれ育った一世代歳の離れた筆者達は「なんでもなおすおじさん」や「家族の歴史そのものであるテーブルの焦げ跡」といった私たちが経験したようなことがらについて、修復との出会いの記憶をノスタルジア、「実際には存在しなかった黄金時代」として整頓する。本書ではリペアの対象は「もの」のみではなく、同様

に壊れやすい人間関係、社会、環境について真摯に向き合い、どのようなときに修理・修復を試み、またあきらめるべきか、さらに復帰できない場合の新しい正常状態「ニューノーマル」への移行について、物理、生物、社会心理、経済、政治、歴史などのメカニズムから複雑系や自己組織化などの概念も適用し考察されている。事例を紹介していく構成で、やさしい説明がこころがけられているため、どこを読んでも新しい考え方に触れることができる。



©2025 毛利 紫乃 この記事はクリエイティブ・コモンズ [表示 - 非営利 4.0 国際] ライセンスの下に提供されています。 <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/deed.ja>



永井一史 + 多摩美術大学 すてるデザインプロジェクト／著

すてるデザイン

持続可能な社会をつくるアイデア

148 × 210 mm 192 頁 定価 2,200 円 (税込)
出版社：(株) パイ インターナショナル 2023 年発行
〒170-0005 東京都豊島区南大塚 2-32-4
TEL 03-3944-3981 FAX 03-5395-4830 sales@pie.co.jp
ISBN 978-4-7562-5764-2 C 3070

【評者】 帝京大学 文学部 ^{わたなべ こうへい} 渡辺 浩平

本書は 2021~23 年にかけて実施された、多摩美術大学の「すてるデザイン」プロジェクトをしめくる活動として出版されたものである。評者は 2021 年にこのプロジェクトの一環として行われた「食品ロス削減のためのアイデアソン」というイベントに講師・ファシリテータとして関わった。社会課題を解決するデザインを考えることもデザイン専攻の準備範囲であり、ワークショップではコンセプトをわかりやすく可視化していた。そのスタンスを継承する本書の中心となる第 3 章

では定番の 3R の他に「Repurpose」や「Repair」などを加えた 8 つのジャンルに分けて、さまざまな取り組みを紹介している。要らなくなったものが新しいものを作る材料になる Recycle には多くのページが割かれているが、それと劣らないくらいに重点が置かれているのが「Rethink」で、消費や廃棄の行動を再考してみようという取り組みが魅力的に示されている。「すてるデザイン」というタイトルであるが、「捨てないデザイン」が満載である。



©2025 渡辺 浩平 この記事はクリエイティブ・コモンズ [表示 - 非営利 4.0 国際] ライセンスの下に提供されています。 <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/deed.ja>



野口 光／著
大切にしたいものをお繕い

野口光が教える一生使えるダーニング術

182 × 257 mm 104 頁 定価 1,760 円 (税込)
出版社：(株) 秀和システム 2021 年発行
〒135-0016 東京都東区東陽 2-4-2 新宮ビル 2F
TEL 03-6264-3105 FAX 03-6264-3094
ISBN 978-4-7980-6558-8 C 5077

【評者】 東京農業大学 国際食糧情報学部 ^{の の むら ま き} 野々村 真希

本書は、大切な衣類を自分や家族のために手縫いで縫いたい人に向けて、その方法とデザインのアイデアをやさしく教えるダーニング・ハウツー本である。著者はテキスタイルデザイナーとして活躍する野口光さんで、傷んでしまった大切な衣類たちが、そのセンスと術で素敵に生まれ変わる過程が丁寧に説明されている。靴下の穴を雑に塞ぐくらいしかしたことがない私は、補修というのは、選ぶ糸と描く形でこんなにかわいくなるんだとときめいた。

裁縫が得意でない人間からすると、いくら素敵でも手縫いで縫うなんて大変すぎる、という気持ちはもちろん先走る。けれど野口さんのいう縫いは想像よりずっと気楽だ。縫いは「正解がない針仕事」であり、ほんの少しでいい、全て自分を主体にして縫い進めればいい、と野口さんはいう。ひっかけてやぶれたお気に入りのあの服を思い出し、この本を片手にまずはあれだけ縫ってみようかなと思わせてくれる本である。



©2025 野々村 真希 この記事はクリエイティブ・コモンズ [表示 - 非営利 4.0 国際] ライセンスの下に提供されています。 <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/deed.ja>



片桐雅量／著

完全保存版 イラストだからわかりやすく簡単!

なんでも自分で修理する本

182 × 257 mm 127 頁 定価 1,089 円 (税込)
発行所：(株) 宝島社 2020 年発行
〒102-8388 東京都千代田区一番町 25 番地
TEL 03-3234-4621 <https://tkj.jp>
ISBN 978-4-299-00702-5

【評者】 編集事務局 ^{かじ みゆき} 鍛冶 美行

こんなことだったら、自分で直せばよかった・・・！と、悔しい思いをされたことはありませんか？また反対に、こんなことになるのだったら、修理の専門家に頼めばよかったと後悔されたことはありませんか？そんな後悔をしたくない読者に、『なんでも自分で修理する本』は、簡単な修理をするには格好のハウツー本です。3D に近い図解で仕組みが説明されており、仕組みがわかれば、機能しなくなった原因がわかり、素人にはこの修理は無理だと、

元々、周期的にパーツ交換するように作られているのだというのがわかります。壊れた！どうしよう、焦ることもなく、どういう修理が必要なのか、はたまた単に掃除するだけでよいのだというのが判明します。ごみにしてしまう必要もなく、とても得をした感が強く、晴れ晴れとした気分になります。巻末特典の工具の使い方の解説も初心者には「今さら聞けない」ポイントで、使い方が間違っていたことが判明するかもしれません！



©2025 鍛冶 美行 この記事はクリエイティブ・コモンズ [表示 - 非営利 4.0 国際] ライセンスの下に提供されています。 <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/deed.ja>